

神代花だより



JINDAI BOTANICAL GARDENS



@ParksJindai



椿ウィーク

3・4(木)～3・30(日)

神代つばき展

場所:植物会館1F展示室

日本ツバキ協会登録新花約100種の紹介や
ツバキの切花を展示

ガイドボランティアによる

つばき・さざんか園ガイドツアー

3・15(土)・3・16(日) ①10:30～②13:30～

参加費:無料(入園料別途) 集合場所:正門周辺

伊豆大島椿まつり情報コーナー

都立大島公園椿園の情報をはじめ、伊豆大島椿
まつりの情報やあんこさんの顔出しパネルの設置ほか

場所:植物会館ロビー



菊更紗



ト伴(ぼくはん)



神代都鳥

ツバキは桃山時代ころ茶道の興隆とともに愛好されるようになったといわれています。江戸時代になると、花好きの二代將軍徳川秀忠が全国から名花を求めたこともあり、ツバキは江戸で大流行し、豪華な八重咲きの花や洗練された美しさを持つ多彩な園芸品種が作り出されました。これら江戸で育まれたツバキを総称し「江戸椿」と呼んでいます。江戸のツバキは、江戸幕府が崩壊すると庭が荒廃し多くが失われ散逸してしまいました。明治12年、染井の植木屋伊藤小右工門は、同業者とともに散逸したツバキを集め、

199品種のツバキの番付

「椿花集」を発行します。

都市化により植木産地が

埼玉県の安行に移ると、ツバ

キは安行の皆川椿花園に引

き継がれ、戦時中の食糧難に

も大事に守り伝えられました。

当園のつばき・さざんか園には、

約250種類のツバキやサザンカが

植えられています。その多くは、昭和

36年の神代植物公園開園に向け皆川

椿花園から入手したものです。

伝統を受け継ぐ江戸椿も100品種

以上がみられ、こは愛着家から「江戸

椿の聖地」と呼ばれています。

ツバキの漢字は、木偏に春と書きます

(これは日本で作られた漢字だそうです)。

早咲きの品種は12月ころから咲きだし

ますが、春3月からがまさにツバキの見頃。

花の色や形も品種

ごとに様々で見飽

きることがありま

せん。葉が見どころ

の変わり葉品種も

あります。当園で

見つけたオリジナル

品種、神代都鳥、

と、神代桃錦も、

お見逃しなく。



さくらまつり

3・19(木)～4・6(日)

臨時開園:3月24日(月)

さくらコンサート

芝生広場で桜並木を背景に心安らぐ音楽をお届け

①11:15～②14:15～(各回30分)

※雨天は植物会館集会所で実施予定



トランペット
渡邊和武



ピアノ
小杉泰斗

ジャズ

3月30日(日)

クラシック

4月6日(日)



ヴァイオリン
佐藤百花



ヴァイオリン
阿部奏美

ガイドボランティアによる

さくら園ガイドツアー

3・22(土)・3・23(日)

3・29(土)

4・5(土)・4・6(日)

①10:30～②13:30～

参加費:無料(入園料別途)

集合場所:正門周辺

※開催時間に集合場所へお越しただければご参加いただけます。



サクラ'鬱金'



サクラ'神代曙'



サクラ'一葉'



サクラ'楊貴妃'



ヤマザクラ